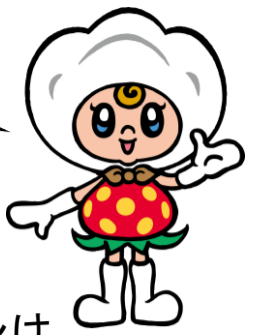


資源ごみの出し方注意点

① 出し方全般

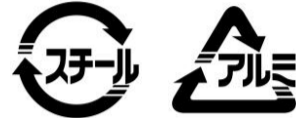
- 1 資源を出すときは、地域で決められた時間を必ず守ってください。
- 2 各家庭に配布されている《家庭ごみ・資源の分け方・出し方》及び《資源の分け方（参考例）》を参考に、分別をして出してください。
- 3 空き缶・ビン・ペットボトルは、必ず水洗いし、きれいにして出してください。
※ 特に、油のついた物はよく洗ってください。（シーチキンの缶やドレッシングのビンなど）
- 4 空き缶・ペットボトル・一升・四合・二合ビン・ビールビンは大きな青色のコンテナ、雑ビンは黄色のコンテナ、乾電池は専用の小さい青色のコンテナにそれぞれ入れてください。
- 5 紙類は、種類別（新聞紙、雑誌・雑紙、ダンボール、牛乳パック）に積み置きして、生きビンはコンテナに横にして出してください。（二宮地区は専用ケースに入れてください。）

分別しましょう！



② 資源①

1 空き缶（スチール缶・アルミ缶）



- ・ 缶はつぶさないでください。
- ・ 一斗缶の1/3程度以下の大きさで、ジュース缶・缶詰の缶・のり缶・ミルク缶・お茶の缶などです。入浴剤などの口に入れられない物が入っていた缶や洗ってもきれいにならない缶などは、『その他粗大ごみ』です。



中を洗う



つぶさない

2 雑ビン（透明・茶色・その他の色ビンなどの3分別）

- ・ 必ずふたを取って出してください。
- ・ ビンの口部分の色がそのビンの色となります。例えば口部分の色が透明ならば、ビン自体が何色でも透明ビンとなります。
- ・ 透明・茶色・その他の色に分別するのは、飲食物などの口に入れられる物が入っていたビンだけです。
☆ 化粧品やキンカンなどの塗り薬のビンは、色に関係なく『その他の雑ビン・缶等』です。
☆ カップ酒の容器は、耐熱ガラスなので『その他の雑ビン・缶等』です。
- ・ 『その他の雑ビン・缶等』に入れる物は【口に入れられない物のビン】【コップや窓ガラスなどのガラスかけ】【陶磁器(欠けてない物・欠けた物でも可)】【油缶】【スプレー缶】【カセットガスボンベ缶】【ライター】【ビンやボトルの金属製のふた】【取れた缶詰のふた】だけです。（注意：スプレー缶・カセットガスボンベ缶は、必ず穴を開けて出してください。）
- ・ 針金・カミソリの刃・スプーン・おたまなど、空き缶以外の金属、電球・蛍光管・ラップの箱の金属製の刃などは、『その他（もえないごみ）・粗大ごみ』です。



←この部分がビンの色となります

3 ペットボトル

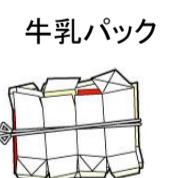
- ・ ペットボトルマークのあるもので、清涼飲料水・焼酎・酒類・しょう油のボトルに限ります。
- ・ ペットボトルマークがあっても、ソース・ドレッシング・油のボトルは『もえるごみ』です。
- ・ 必ず、ふたを取って、ラベルをはがし、つぶして出してください。キャップをはずす ラベルを取る 中を洗う つぶす



③ 資源②

1 紙類（新聞、雑誌・雑紙、ダンボール、牛乳パック）

- ・ 紙類は、ビニールやナイロンの袋に入れしないでください。
- ・ 必ず、ひもで十文字にしばってください。（注意：針金やマイカー線は使わないでください。）



ひもで十文字にしぼる

2 古着類（古着・古布）

- ・ 必ず、たたんでひもで十文字にしぼり、透明、半透明のビニール袋に入れて出してください。
- ・ 綿の入ったもの・革製品・布でないもの・油等汚れのひどいものは『もえるごみ』です。
- ・ ふとん・毛布・カーペットは『その他（もえないごみ）・粗大ごみ』です。

3 生きビン（「一升・四合・二合ビン」・「ビールビン」の2分別）

- ・ 口の欠けたビン・ラベルのないビンは、資源①の『雑ビン』です。
- ・ 一升ビン(1.8リットル)は、茶色と緑色のものだけです。（くもりを除く）
- ・ 油やソースの一升ビンは、色に関係なく資源①の『雑ビン』です。
- ・ 地ビール・外国製のビールビンは、資源①の『雑ビン』です。

四合ビン



生きビンとなる四合ビンには、口部分の下にRマークがあります

〔紙類・古着類は、収集日が雨天の場合、できるだけ次回に出すようお願いいたします。〕